



資料提供  
令和4年10月25日  
課名 販売・連携推進課  
担当 伊藤  
内線 3581  
直通電話 082-513-3582

## 食の“稼ぐ力”ビジネスの創発支援プログラム 「Hiroshima FOOD BATON」採択3チームが決定！ 採択プロジェクト発表会：10月31日（月）13:30～15:00 県庁6階講堂

生産から販売に係る様々な企業と農業経営体が連携し、新たな「食」のビジネスを創発して農業経営体の「稼ぐ力」を高めることを目的とした「Hiroshima FOOD BATON」（ひろしまフードバトン）の採択チームを決定しました。

農業経営体や食品加工、ITなど幅広い分野の事業者23者（24件）の応募の中から、3チームを採択しました。採択されたチームには、事業の立ち上げに必要な取組に対して今年度300万円を上限に支援するほか、専門家による伴走支援を行います。

この度、採択されたチームが、自分たちの事業計画を詳細に説明する記者向けの採択プロジェクト発表会を次のとおり行います。

ぜひご参加いただき、新たなビジネスの創出に挑戦する過程をご取材いただきたく、ご案内いたします。

### 採択プロジェクト ※プロジェクト概要は3ページ目をご覧ください

#### ■薬局DE野菜

（やっきょくでやさい）



- ✓健康をテーマにした野菜販売ができる新たな「棚」を調剤薬局に設置
- ✓医療現場などとの協業で、栄養機能に着目した商品開発など新たな価値を創出

#### ■HIROSHIMA HYBRID DESIGN

（ひろしまハイブリッドデザイン）



- ✓市場流通できない廃棄野菜を活用したアップサイクル(※)型商品の展開
- ✓とれたて・出来たての高品質な冷凍食品を高速・高回転で商品化し、百貨店・高級スーパー等で販売

#### ■comorebi commune

（こもれびコミュニティ）



- ✓都内在住クリエイターを島に呼び込み、「クリエイターズコミュニティ」を立ち上げ、耕作放棄地を活用して今までにない視点での商品開発・魅力発信

(※)アップサイクル：本来は捨てられるはずの製品に新たな価値を与えて再生すること

### 採択プロジェクト発表会 ※タイムスケジュールは裏面をご覧ください

- (1) 日時：令和4年10月31日（月）13:30～15:00
- (2) 場所：広島県庁本館 6階講堂
- (3) 内容：「Hiroshima FOOD BATON」の概要説明  
・採択プロジェクトの紹介（各チームによる発表）  
・質疑応答、名刺交換、展示、試食等
- (4) 参加申込：合同会社MHDFまでご連絡ください。（メール：hiroshima-food-baton@mhdf.co.jp）

次頁へ続く

## 採択プロジェクト発表会タイムスケジュール

時間	項目	内容
13:30	主催者挨拶	大瀧清（おおはま きよし） 広島県農林水産局長
13:35	Hiroshima FOOD BATON の概要説明	山中良太（やまなか りょうた） 合同会社MHDF 代表
13:45	採択プロジェクト の概要説明 （各チーム 10 分）	<p>■発表 1 プロジェクト名：薬局 DE 野菜 発表者：藤谷祐司（ふじたに ゆうじ）（Agre Lore Lab.代表），</p> <p>■発表 2 プロジェクト名：HIROSHIMA HYBRID DESIGN 発表者：小野敏史（おの さとし）（株式会社 ATORA 代表取締役）</p> <p>■発表 3 プロジェクト名：comorebi commune 発表者：小嶋正太郎（こじま しょうたろう）（comorebi farm 代表）</p>
14:15	質疑応答	
14:30	フォトセッション	
14:35	交流会	<p>名刺交換，意見交換，展示，試食 等</p> <p>■薬局 DE 野菜 薬局に設置する販売棚，野菜の展示</p> <p>■HIROSHIMA HYBRID DESIGN 廃棄野菜で作った冷製スープ「Re soup」の展示，試食</p> <p>■comorebi commune クリエイター発想で開発した八朔ビールの展示，サンプル提供</p>

## 採択プロジェクトの概要

### プロジェクト名：薬局 DE 野菜（やっきょくでやさい）

- ・起案代表者：藤谷祐司（Agre Lore Lab., 三次市）【農業経営体（白ねぎ）】
- ・プロジェクト概要：

地域密着型の調剤薬局が大手ドラッグストアとの差別化のために、顧客の健康サポートの推進方法に課題を抱える中、その解決手段として健康をテーマにした野菜販売の出来る新たな「棚」を創出します。

具体的には、美味しく健康でいたい顧客層をターゲットに、健康に関する親身な商品提案ができる薬局ならではの顧客接点を活かし、広島県産野菜からなる健康テーマの野菜ブランドの創出を目指します。

ブランド創出に向けては、農業分野と医療現場等など今までにない業界との協業で、栄養機能に着目した商品開発（機能性表示食品トマト等）など、新たな価値創出に取り組みます。



次頁へ続く

## プロジェクト名：HIROSHIMA HYBRID DESIGN（ひろしまハイブリッドデザイン）

・起案代表者：株式会社 ATORA（広島市）【食品製造業】

・プロジェクト概要：

百貨店・高級スーパー等の高品質且つオリジナルな冷凍食品を小ロット・高頻度で商品展開したいニーズや、市場流通できない廃棄野菜等の有効活用といった課題に対し、企画から販売まで行う食品製造業者と農業経営体がチームとなり、とれたて・出来たての「瞬間」にしかない価値を閉じ込められる高品質な冷凍商品を高速・高回転で開発・販売することで応えます。



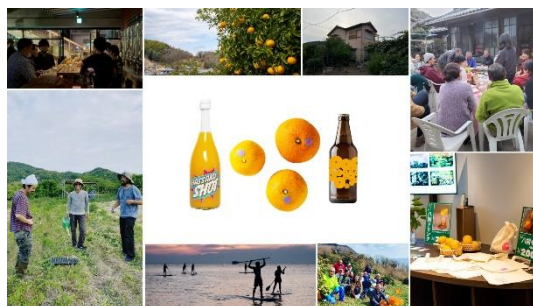
具体的には、廃棄野菜等を活用したアップサイクル型商品展開（野菜オンリースープ「Re soup」等）や、広島県産の農作物・畜産物の新たなブランド商品展開（広島和牛ハンバーグ、六穀豚塩そば等）を推進します。これによって、高品質な一次産品が生まれる自然環境を活かしきれていない広島県の課題をマーケティングの力で解決し、更に農業経営体の稼ぐ力に資する事業を目指します。

## プロジェクト名：comorebi commune（こもれびコミュニティ）

・起案代表者：小嶋正太郎（comorebi farm, 尾道市）【農業経営体（八朔, 安政柑）】

・プロジェクト概要：

創造性に溢れる地方ライフスタイルを求める都会在住クリエイターが抱える移住・就農課題を、因島での耕作放棄地を活用した手軽な就農支援を通じて解決します。これと同時に、因島における柑橘生産者の後継者問題を解決する新たな就農モデルの創出と、それに基づくコミュニティ型の産地形成ビジネスに挑みます。



具体的には、農家民宿の立ち上げを通じて移住・就農を体験できる環境を整備し、クリエイターを続けながら就農できる仕組みを整備します。その後、移住クリエイターによる「クリエイターズコミュニティ」を起点に、地域産品を用いて今までにない視点や方法で新商品（八朔を活用したビールやアロマオイルなど）を開発し、地域の魅力を発信します。これらの活動を通じて、地域の後継者問題の解決と農業経営体の稼ぐ力向上を両立する新たな事業モデルを創出します。

### <取材連絡先>

■採択プロジェクト発表会に関すること

合同会社 MHDF 広報担当

【メール：hiroshima-food-baton@mhdf.co.jp】

■食のイノベーション推進事業に関すること

広島県農林水産局販売・連携推進課

課長 伊藤美佐【電話：082-513-3582】